

公認心理師試験研修センター

研修総合ガイド

一般財団法人公認心理師試験研修センター

2025.3

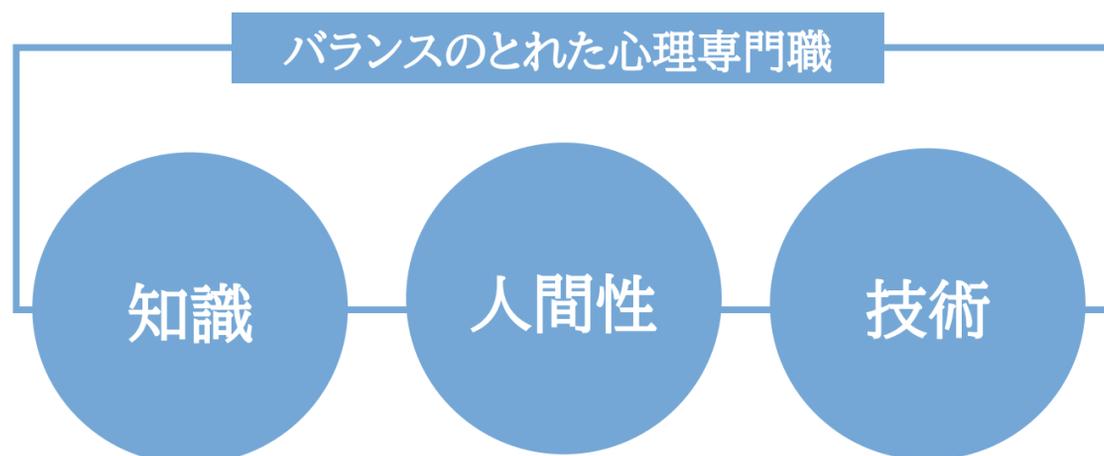
研修のめざすもの -社会に役立つ公認心理師をめざして-

生活の中でさまざまな困難を抱え、心理的支援を必要とされている方々の支えとなれる。

こころの健康において、一人ひとりがより生きやすくなる社会づくりに貢献できる。

このような力を身につけていくためには…

「人間性」・「知識」・「技術」のバランスのとれた実践力のある心理専門職となることが求められます。



自らの座標軸を持ち、多軸で観察し思考する

研修の受講を通じて

- ① 人間と社会への多角的な理解を深め、ジェネラルな職業人としての基本姿勢を涵養する。
- ② 要支援者やその関係者に対する的確な理解に基づき、多様なニーズに即した適切な支援を提供できる実践的な考え方を身につける。
- ③ 実践を謙虚に振り返り、内省して、さらに学び、考えながら実践を続けようとする、自己探求の姿勢に繋げる。

各研修課題は実務に関わる内容で構成されています。

心理的支援の実務を考えるための視座を身につける基礎的で本質的なテーマ

心理的支援の現場で遭遇する実践的課題を多角的に捉え考えるためのテーマ

心理職が働く各分野の実務の特質を踏まえて、その基礎を身につけるためのテーマ

研修は、ニーズに合わせて3つの受講形式から学ぶことができます。

実務基礎研修(総合2年型)

実務基礎研修(カフェテリア型)

一般研修・セミナー

公認心理師試験研修センター研修

実務基礎研修
(総合2年型)

実務基礎研修
(カフェテリア型)

一般研修・セミナー

講義内容(例)

人間とはどのような存在であるのか…

人間の発達と成長とはいかなるものであるのか…

各分野の心理職として理解しておくべき基本的課題とはどのようなものか…

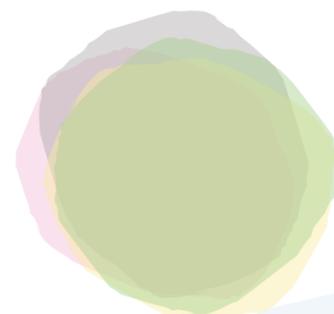
各分野で心理職としてどのように他の専門職と協働していくことが求められるのか…

法律や規範、社会、文化は人間のこころやそのありようにどのように関わっているのか…

さまざまな困難を抱え、支援を必要とする方々を的確に理解し支えるための具体的な実践とは…

このような方におすすめします

- ✓これから公認心理師として実務に就こうとする方
- ✓心理職の実務についての基礎を幅広く身につけたい方
- ✓多職種との連携や協働のあり方についてあらためて考え学びたい方
- ✓自分が関心を持ち理解を深めたいと考えている実践的課題がある方
- ✓実務において行き詰まりや悩みを抱え、新たな視点を得たいと考えている方
- ✓実務において空白があり、再始動に当たって最新の動向について要点を押しえたい方



実務基礎研修 (総合2年型)

オンデマンド研修と実開催研修を組み合わせた研修です。
2年間(4クール)で実務の基礎を体系的に学ぶことができます。

- ▶▶講義一覧はp.6-9
- ▶▶講義詳細は公認心理師試験研修センターHP『実務基礎研修シラバス』参照

【オンデマンド研修】 同一クールの研修課題については繰り返し視聴することが可能です。

研修1年目	第1クール	必修	共通基礎研修	10単元 28研修課題※ 34時間	
	第2クール	必修	5分野基礎研修 5分野横断的な基本的課題	12単元 28研修課題※ 32時間	
研修2年目	第3クール	必修	5分野基礎研修 5分野の実務における基本的課題①	5分野×5研修課題※ 30時間程度	【実開催研修】2年目以降 任意 5時間程度 実務者交流研修 1日開催の集合研修として実施いたします
	第4クール	必修	5分野基礎研修 5分野の実務における基本的課題②	5分野×5研修課題※ 30時間程度	必修 5時間程度 5分野基礎研修 (夏季セミナー) 1日開催の集合研修として実施いたします オンライン受講を併用いたします

申込から受講までの流れ

※研修課題あたり1時間～1時間半程度の講義時間となります

- ・本研修は、公認心理師の資格を登録済の方で「公認心理師登録証」を所持している方が受講対象となります。
- ・研修受講希望者は、研修申込サイトに事前登録を行った上で、申込を行います。
- ・毎年8月に申込開始、10月から開講します。(受講料は各クール毎の入金となります。)
- ・受講申込を行った期における2年間を半期(4月から9月まで及び10月から3月まで)ごとに区分し、所定のカリキュラムを計4クール受講することで修了とします。

実務基礎研修(総合2年型)修了の認定について

第1クールから第4クールまでの全ての研修課題の受講及び実開催研修(5分野基礎研修)の受講が要件となります。ただし、「実務者交流研修」については任意による参加とし、修了要件に含めません。

実務基礎研修 (カフェテリア型)

オンデマンド研修です。
興味・関心のあるテーマを集中的に学ぶことができます。

- ▶▶ 講義一覧はp.10-13
- ▶▶ 講義詳細は公認心理師試験研修センターHP『実務基礎研修シラバス』参照

セット 番号	セット名称	課題数
共通基礎研修 ※1	① 対人援助にあたる実務者としての基礎となるもの	4単元 9研修課題
	② 人間理解の基盤[身体/成長・発達/アセスメントの基礎]を学ぶ	3単元 9研修課題
	③ さまざまな視点からところを捉える	3単元 10研修課題
5分野横断的課題	④ アセスメントや支援の基本となる学びを深める	3単元 9研修課題
	⑤ 病いや障害、厳しい現実と向き合う専門職としての理解を深める	4単元 9研修課題
	⑥ 現代社会の諸問題の理解と支援を考える	4単元 10研修課題
5分野基礎研修 ※2	⑦ 保健医療分野の実務における基本的課題	10研修課題
	⑧ 福祉分野の実務における基本的課題	10研修課題
	⑨ 教育分野の実務における基本的課題	10研修課題
	⑩ 司法・犯罪分野の実務における基本的課題	10研修課題
	⑪ 産業・労働分野の実務における基本的課題	10研修課題

※1 実務基礎研修(総合2年型)の第1クール(共通基礎研修)の内容から構成されています。

※2 実務基礎研修(総合2年型)の第2-第4クール(5分野基礎研修)の内容から構成されています。

申込から受講までの流れ

- ・研修受講希望者は、研修申込サイトに事前登録を行った上で、申込を行います。
- ・毎年4月、7月、10月に申込を行います。開講期間は各申込月の翌月から1か月程度を予定

【一般研修】

興味関心のある内容・テーマを選択して受講することができるプログラムです。

1研修当たり1時間程度のオンデマンド研修です。

公認心理師の方々の実務に役立つ内容・テーマを取り上げ、随時公開・更新していきます。※1

例) 心理検査の基礎、各分野の最新動向 等

※1 最新情報は公認心理師試験研修センターHPをご確認ください。

【セミナー】

公認心理師試験研修センターを会場として実施します。

セミナーの内容は、後日オンデマンドにて配信予定です。

スタートアップセミナー(6月頃開催予定)

- ・公認心理師登録後3年目までの公認心理師を対象とするセミナーです。
- ・公認心理師としての仕事や自己研鑽の進め方について先輩心理職から情報提供いただくなど今後のキャリア形成に向けて役立つ内容のセミナーを予定しています。

夏季セミナー(7月頃開催予定)

- ・公認心理師が働く各分野の実務に関する最新情報やトピックス、さまざまな分野の視点から一つの事例を検討する事例検討会などのセミナーを毎年企画します。
- ・夏季セミナーは、実務基礎研修(総合2年型)の実開催研修(5分野基礎研修)となります。※2
- ・実務基礎研修(総合2年型)受講中の方は、実務基礎研修(総合2年型)受講料に夏季セミナー受講料も含まれます。

※2 会場での参加は、実務基礎研修(総合2年型)受講中の方が優先となりますが、会場の席に空きがある場合に限り一般での参加を受付いたします。



2024年7月に開催された夏季セミナーの様子

実務基礎研修(総合2年型)

第1クール【1年目前期】

所属・役職は2024年3月現在

共通基礎研修 単元		共通基礎研修 各単元の研修課題		研修講師
1	国家資格としての公認心理師	①	国家資格としての公認心理師	村瀬 嘉代子(公認心理師試験研修センター、顧問 大正大学、名誉・客員教授)
2	人の権利と尊厳	②	基本的な人権の尊重と今日的課題	岩佐 嘉彦(日本子ども虐待防止学会理事長、弁護士)
		③	人々の権利を守る社会制度の仕組み	増沢 高(子どもの虹情報研修センター、研究部長) 高橋 温(NPO法人子どもセンターてんぼ理事長、 弁護士) 畑山 麗衣(NPO法人Giving Tree、 ピアカウンセラー)
3	法と倫理	④	生命倫理	香川 知晶(山梨大学、名誉教授)
		⑤	人間のこころにひそむもの	森岡 正芳(立命館大学、教授)
		⑥	法制度と職業倫理のジレンマの中で	古村 健(国立病院機構東尾張病院、心理療法士)
4	人間の発達と成長	⑦	いのちの誕生	永田 雅子(名古屋大学、教授)
		⑧	脳とこころの発達	黒田 公美(東京工業大学 生命理工学院、教授)
		⑨	人間のライフ・サイクルと心理社会的成長	遠藤 利彦(東京大学、教授)
		⑩	老いと死	神田橋 宏治(としま昭和病院、医師)
5	人間の理解を考える	⑪	人間の理解、人間存在の理解	神庭 重信(九州大学、名誉教授) 島藺 進(東京大学、名誉教授)
		⑫	心理的支援の現場における実践的なアセスメント	熊上 崇(和光大学、教授) 橋本 忠行(香川大学、教授)
		⑬	公認心理師としての自己理解と職能的発達	岩壁 茂(立命館大学、教授)
6	対人援助における多職種連携と協働	⑭	多職種連携・協働の理念	中尾 智博(九州大学、教授) 石隈 利紀(東京成徳大学、教授)
		⑮	連携・協働に必要な実践力 ①情報共有するための事例の記録と報告	増沢 高(子どもの虹情報研修センター、研究部長) 橋本 和明(国際医療福祉大学、教授)
		⑯	連携・協働に必要な実践力 ②連携・協働するためのコミュニケーション ・相互コンサルテーション	三宅 美樹(株式会社トヨタ車体研究所) 田村 節子(東京成徳大学、教授)
7	家族・生活とこころ	⑰	家族	神谷 哲司(東北大学、教授)
		⑱	生活の営みとこころ	増沢 高(子どもの虹情報研修センター、研究部長) 松永 忠(社会福祉法人別府光の園、統括施設長) 国分 美希(社会福祉法人至誠学舎立川 至誠大空の家、施設長)
		⑲	家族像とアイデンティティ	神谷 哲司(東北大学、教授) 松永 忠(社会福祉法人別府光の園、統括施設長) 国分 美希(社会福祉法人至誠学舎立川 至誠大空の家、施設長)
8	社会・経済とこころ	⑳	産業(経済)とこころ	千本 倅生(株式会社レノバ、名誉会長)
		㉑	現代社会とキャリア	下村 英雄(独立行政法人労働政策研究・研修機構 職業構造・職業指導部門、 副統括研究員)
		㉒	社会集団・組織と心身の健康	山口 裕幸(九州大学、教授)
9	文化とこころ	㉓	文化における普遍性と多様性	長谷川 眞理子(総合研究大学院大学、前学長) 外山 みどり(学習院大学、名誉教授) 波平 恵美子(お茶の水女子大学、名誉教授)
		㉔	心理的支援の実践における文化	江口 重幸(東京武蔵野病院、名誉副院長)
		㉕	マイノリティの文化と心理的支援	加賀美 常美代(目白大学、教授) 熊谷 晋一郎(東京大学、准教授) 葛西 真記子(鳴門教育大学、教授)
		㉖	文化間移動のこころへの影響	徳永 智子(筑波大学、准教授)
10	身体とこころ	㉗	身体とこころ	黒木 俊秀(九州大学、教授) 熊野 宏昭(早稲田大学、教授) 兼本 浩祐(愛知医科大学、教授)
		㉘	こころの病とこころの健康を考える	黒木 俊秀(九州大学、教授) 山下 洋(九州大学病院、特任准教授) 杉山 登志郎(福井大学、客員教授)

実務基礎研修(総合2年型)

第2クール【1年目後期】

所属・役職は2024年3月現在

5分野横断的な基本的課題 単元		5分野横断的な基本的課題 各単元の研修課題		研修講師
導入	人々の生活を支える礎となるもの	導入	人々の暮らしを支える礎となるもの －法と医療の視点から－	安倍嘉人(元東京高等裁判所、長官) 神庭 重信(九州大学、名誉教授) 村瀬嘉代子(公認心理師試験研修センター、顧問 大正大学、名誉・客員教授)
1	心理専門家の責任、 クライアントの責任	①	心理専門家の責任とクライアントの責任	森田 美弥子(名古屋大学、名誉教授)
		②	障害と罪の有責性を考える	安保 千秋(都大路法律事務所、弁護士)
2	事実を探求する	③	事実への接近	金矢 拓(四季の風総合法律事務所城南オフィス、弁護士)
		④	さまざまな分野における事実の取り扱い	神庭 重信(九州大学、名誉教授) 黒木 俊秀(九州大学、教授) 増沢 高(子どもの虹情報研修センター、研究部長) 石隈 利紀(東京成徳大学、教授) 橋本 和明(国際医療福祉大学、教授) 金井 篤子(名古屋大学、教授)
		⑤	心理的支援の実践と研究成果:科学的根拠	岩壁 茂(立命館大学、教授)
3	自分にとって大切なことを 知ること、伝えること、共有すること	⑥	インフォームド・コンセントと協働による意志決定	田中 康雄(こころとそだちのクリニックむすびめ、医師)
		⑦	生命と存在に関わる真実告知	久保田 馨(日本医科大学、教授) 柘植 あづみ(明治学院大学、副学長・教授) 山田 勝美(山梨県立大学、教授)
4	病いと障害を考える	⑧	病気・障害とこころ	黒木 俊秀(九州大学、教授)
		⑨	重い病気の子ども:障害とこころ	藤野 陽生(大阪大学、准教授)
		⑩	神経発達症・障害とこころ	井上 雅彦(鳥取大学、教授) 黒田 美保(田園調布学園大学、教授)
5	現代社会の問題と支援Ⅰ 自らを傷つけること	⑪	自傷について	松本 俊彦(国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所、薬物依存研究部部長 (兼任)薬物依存症センター、センター長)
		⑫	自殺(自死)について	新井 肇(関西外国語大学、教授)
6	現代社会の問題と支援Ⅱ 他者を傷つけること	⑬	暴力や加害の背景にあるもの	藤岡 淳子(大阪大学、名誉教授)
		⑭	虐待、DV、いじめ、ハラスメント －弱者への暴力を考える－	中村 正(立命館大学、教授)
		⑮	暴力の世代間伝達	野坂 祐子(大阪大学、教授)
7	現代社会の問題と支援Ⅲ 危機と支援	⑯	危機への理解と支援	窪田 由紀(九州産業大学、科研費特任研究員)
		⑰	危機対応におけるコミュニケーション	平井 啓(大阪大学、准教授)
		⑱	災害における危機対応	河嶋 讓(厚生労働省委託事業DPAT事務局次長、医師) 大澤 智子(兵庫県こころのケアセンター、上席研究主幹)
8	現代社会の問題と支援Ⅳ 医療化・心理学化	⑲	医療化/心理学化とメンタルヘルスケアの社会化	石原 孝二(東京大学、教授)
		⑳	こころの病とこころの薬	黒木 俊秀(九州大学、教授)
9	現代社会の問題と支援Ⅴ 高齢化・認知症	㉑	認知症の理解と支援	繁田 雅弘(東京慈恵医科大学、主任教授)
		㉒	高齢者・その支援者を共に支える	繁田 雅弘(東京慈恵医科大学、主任教授)
10	現代社会の問題と支援Ⅵ 貧困・孤立・不登校 ・社会的ひきこもり	㉓	貧困の理解	松本 伊智朗(北海道大学、名誉教授)
		㉔	不登校と社会的ひきこもり	伊藤 美奈子(奈良女子大学、教授) 斎藤 環(筑波大学、教授)
11	内省的実践	㉕	日々の実践を振り返る	増沢 高(子どもの虹情報研修センター、研究部長)
		㉖	スーパービジョンにおける学び方	橋本 和明(国際医療福祉大学、教授) 谷 麻衣子(愛知県医療療育総合センター中央病院、主任) 鈴木 隆文(児童心理治療施設名古屋市くすのき学園、 心理士) 今枝 美幸(金城学院大学、助教) 近藤 隆夫(帝塚山大学、教授・元家裁調査官) 水島 秀聡(小島プレス工業株式会社、課長)
		㉗	ケースカンファレンスにおける学び方	川瀬 正裕(金城学院大学、教授)

実務基礎研修(総合2年型)

第3クール【2年目前期】

所属・役職は2024年10月現在

5分野の実務における基本的課題 単元		5分野の実務における基本的課題 各単元の研修課題	研修講師
1	保健医療分野の実務における基本的課題	① 我が国の保健医療制度の現状と課題	吉川 隆博(東海大学、教授)
		② チーム医療とリーダーシップ	畠山 卓也(高知県立大学、准教授) 古村 健(名古屋市立大学大学院、准教授)
		③ 一般身体科領域における公認心理師への期待	服巻 豊(広島大学、教授)
		④ 生活習慣と未病状態への支援	神田橋 宏治(としま昭和病院、医師) 竹中 晃二(早稲田大学、名誉教授)
		⑤ 保健医療分野におけるトラウマインフォームドケア	大岡 由佳(武庫川女子大学、准教授)
2	福祉分野の実務における基本的課題	① 生活と心理臨床	滝川 一廣(あなはクリニック、医師)
		② 福祉領域における権利擁護と法制度	高橋 温(新横浜法律事務所、弁護士) 丹野 傑史(長野大学、教授) 加藤 伸司(東北福祉大学、教授)
		③ 多職種協働による支援と心理職の役割	薬師寺 真(倉敷児童相談所、所長) 下山 真衣(信州大学、准教授) 加藤 伸司(東北福祉大学、教授)
		④ 子育て支援と心理職の役割	八木 安理子(同志社大学、客員教授)
		⑤ 障害のある当事者、家族、支援者への支援と心理職の役割	田熊 立(千葉県発達障害者支援センターCAS、副所長)
3	教育分野の実務における基本的課題	① 教育の現状と動向	仲村 健二(文部科学省児童生徒課生徒指導室、室長) 石隈 利紀(東京成徳大学、特任教授)
		② 学校組織とチーム学校の理解	山口 豊一(聖徳大学、教授) 石川 悦子(こども教育宝仙大学、教授)
		③ 子どもの問題と心理教育的援助サービスのモデル	新井 雅(跡見学園女子大学、教授) 大石 幸二(立教大学、教授)
		④ 家庭や地域の問題と心理教育的援助サービス	水野 治久(大阪教育大学、教授) 野田 正人(立命館大学、名誉教授)
		⑤ 子ども、学校組織・風土、環境のアセスメント	半田 一郎(子育てカウンセリング リソースポート) 小野 純平(法政大学、教授)
4	司法・犯罪分野の実務における基本的課題	導入 司法における人間へのまなざし	廣瀬 健二(元東京高等裁判所、判事) 橋本 和明(国際医療福祉大学、教授)
		① 司法・犯罪関連施設における生活と関係性の治療的意味	村瀬 嘉代子(公認心理師試験研修センター、顧問 大正大学、名誉・客員教授) 富田 拓(北海道家庭学校樹下庵診療所・ 網走刑務所医務課、医師)
		② 司法・犯罪分野における特有の感情の理解	門本 泉(大正大学、教授)
		③ 公的支援と民間支援のシームレス連携	犬塚 貴浩(大阪刑務所、法務教官) 谷 真如(内閣府内閣サイバーセキュリティセンター、 参事官補佐) 野村 和孝(北里大学、准教授) 浅見 祐香(目白大学、専任講師) 嶋田 洋徳(早稲田大学、教授)
		④ 反省や内省を促す心理職の関わり	石川 隆行(宇都宮大学共同教育学部、准教授) 門本 泉(大正大学、教授)
		⑤ 加害者支援と犯罪被害者支援	寺田 孝(川越少年刑務所、法務教官) 齋藤 梓(上智大学総合人間科学部、准教授)
5	産業・労働分野の実務における基本的課題	① キャリアサイクル理論 - 新入社員のリアリティ・ショック -	道谷 里英(順天堂大学、前任准教授)
		② 組織論 - 若手社員のうつ反応 -	佐藤 恵美(メンタルサポート&コンサル沖縄、代表)
		③ 組織マネジメント論 - 部長職による人材育成 -	佐倉 健史(さんぎょうい株式会社メンタルヘルス・ ソリューション事業室、室長)
		④ リーダーシップ論 - 女性研究職の登用 -	大庭 さよ(メンタルサポート&コンサル東京、代表)
		⑤ 多職種連携 - 関連職種との連携 -	高野 知樹(神田東クリニック、院長)

実務基礎研修(総合2年型)

第4クール【2年目後期】

所属・役職は2025年3月現在

5分野の実務における基本的課題 単元	5分野の実務における基本的課題 各単元の研修課題	研修講師
1 保健医療分野の実務における基本的課題	⑥ 精神科急性期病棟における多職種連携	三井 督子(京都大学大学院医学研究科 助教) 草地 仁史(日本精神科看護協会 業務執行理事) 黒木 俊秀(中村学園大学、特命教授)
	⑦ リスクアセスメントとクライシスプラン	古村 健(名古屋市立大学大学院、准教授) 野村 照幸(新潟医療福祉大学、教授) 黒木 俊秀(中村学園大学、特命教授)
	⑧ 地域在宅医療における公認心理師への期待	若林 英樹(三重大学、教授) 神田橋 宏治(としま昭和病院 医師) 黒木 俊秀(中村学園大学、特命教授)
	⑨ 医療従事者の虐待対応とその後 -TICの視点から-	毎原 敏郎(兵庫県立尼崎総合医療センター、医師) 大岡 由佳((武庫川女子大学 准教授) 黒木 俊秀(中村学園大学、特命教授)
	⑩ 心とからだの境界域 :慢性一次性疼痛の臨床	黒木 俊秀(中村学園大学、特命教授) 杉山 登志郎(福井大学、客員教授)
2 福祉分野の実務における基本的課題	⑥ 児童虐待対応の流れと心理職の役割	薬師寺 真(倉敷児童相談所、所長)
	⑦ 社会的養護を必要とするこどもの支援と心理職の役割1:小学校年齢児	藤原 誠(香川県子ども女性相談センター、次長 (兼)相談支援課長)
	⑧ 社会的養護を必要とするこどもの支援と心理職の役割2:思春期・青年期	増沢 高(子どもの虹情報研修センター、研究部長)
	⑨ 高齢者支援における高齢者と家族に対する心理的支援の実際	加藤 伸司(東北福祉大学、教授)
	⑩ 強度行動障害の理解と支援の実際	高橋 潔(鉄道弘済会、理事)
3 教育分野の実務における基本的課題	⑥ 教職員へのコンサルテーション・コーディネーション	谷島 弘仁(文教大学、教授) 小野瀬 雅人(聖徳大学、教授) 小林 朋子(静岡大学、教授)
	⑦ チーム学校へのコンサルテーション	家近 早苗(東京福祉大学、教授) 西山 久子(福岡教育大学、教授)
	⑧ 保護者、地域との連携	大河原 美以(大河原美以心理療法研究室) 田村 節子(元東京成徳大学、教授 スクールセーフティネット・リサーチセンター、代表理事)
	⑨ 子ども(当事者)とのパートナーシップ	水野 治久(大阪教育大学、教授) 池田 美樹(桜美林大学、准教授) 小栗 貴弘(跡見学園女子大学、教授)
	⑩ 教育分野における課題と公認心理師の役割	石隈 利紀(東京成徳大学、教授) 家近 早苗(東京福祉大学、教授) 水野 治久(大阪教育大学、教授) 半田 一郎(子育てカウンセリング リソースポート) 大石 幸二(立教大学、教授)
4 司法・犯罪分野の実務における基本的課題	⑥ 逸脱行動の背景にある愛着の課題や発達の課題の理解	富田 拓(北海道家庭学校樹下庵診療所・ 網走刑務所医務課、医師) 野坂 祐子(大阪大学、教授) 田中 康雄(ミネルバ病院、医師)
	⑦ 家庭内紛争の中にいる子どもの心理	安保 千秋(都大路法律事務所、弁護士) 熊上 崇(和光大学、教授)
	⑧ 司法関係者等との有効な連携を図るためのアセスメントと関わり	寺村 堅志(常磐大学、教授) 仲 真紀子(理化学研究所、理事 立命館大学、教授)
	⑨ 医療観察法と公認心理師の役割	古村 健(名古屋市立大学大学院、准教授) 西中 宏吏(早稲田大学、助教)
	⑩ 依存症の理解と対応	松本 俊彦(国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所、薬物依存研究部部長 (兼任)薬物依存症センター、センター長)
5 産業・労働分野の実務における基本的課題	⑥ 外部EAP論 -若手の退職事例-	田中 勝男(公認会計士田中勝男事務所、 公認会計士・臨床心理士)
	⑦ 産業精神保健論	高野 知樹(神田東クリニック、院長)
	⑧ 復職支援(リワーク)	三宅 美樹(トヨタ車体研究所)
	⑨ 雇用に関わる法とルール -労働法と就業規則の枠組を知る-	小島 健一(鳥飼総合法律事務所、弁護士) 三宅 美樹(トヨタ車体研究所)
	⑩ 多様性の時代の雇用 -雇用における多様性を考える。人権、倫理、公正との関連から-	白木 三秀(早稲田大学、名誉教授)

実務基礎研修(カフェテリア型)

No.	セット名称	実務基礎 研修該当 クール	研修課題	研修講師	講義 時間	シラバス 頁番号	料金 (税込)
A-1	対人援助にあたる実務者 としての基礎となるもの 【9講義】	第1 クール	① 国家資格としての公認心理師	村瀬 嘉代子(公認心理師試験研修センター、顧問 大正大学、名誉・客員教授)	41分 42分	6	22,000円
			② 基本的人権の尊重と今日的課題	岩佐 嘉彦(日本子ども虐待防止学会理事長、弁護士)	60分	7	
			③ 人々の権利を守る社会制度の仕組み	増沢 高(子どもの虹情報研修センター、研究部長) 高橋 温(NPO法人子どもセンターてんぼ理事長、弁護士) 畑山 麗衣(NPO法人Giving Tree、ピアカウンセラー)	48分	7	
			④ 生命倫理	香川 知晶(山梨大学、名誉教授)	67分	8	
			⑤ 人間のこころにひそむもの	森岡 正芳(立命館大学、教授)	60分	8	
			⑥ 法制度と職業倫理のジレンマの中で	古村 健(国立病院機構東尾張病院、心理療法士)	61分	8	
			⑭ 多職種連携・協働の理念	中尾 智博(九州大学、教授) 石隈 利紀(東京成徳大学、教授)	74分	11	
			⑮ 連携・協働に必要な実践力 ①情報共有するための事例の記録と報告	増沢 高(子どもの虹情報研修センター、研究部長) 橋本 和明(国際医療福祉大学、教授)	60分	11	
			⑯ 連携・協働に必要な実践力 ②連携・協働するためのコミュニケーション・相互コンサルテーション	三宅 美樹(株式会社トヨタ車体研究所) 田村 節子(東京成徳大学、教授)	95分	11	
A-2	人間理解の基盤[身体/成 長・発達/アセスメントの基 礎]を学ぶ 【9講義】	第1 クール	⑦ いのちの誕生	永田 雅子(名古屋大学、教授)	54分	9	27,500円
			⑧ 脳とこころの発達	黒田 公美(東京工業大学 生命理工学院、教授)	58分	9	
			⑨ 人間のライフ・サイクルと心理社会的成長	遠藤 利彦(東京大学、教授)	105分	9	
			⑩ 老いと死	神田橋 宏治(としま昭和病院、医師)	59分	9	
			⑰ 身体とこころ	黒木 俊秀(九州大学、教授) 熊野 宏昭(早稲田大学、教授) 兼本 浩祐(愛知医科大学、教授)	82分	15	
			⑱ こころの病とこころの健康を考える	黒木 俊秀(九州大学、教授) 山下 洋(九州大学病院、特任准教授) 杉山 登志郎(福井大学、客員教授)	74分 46分	15	
			⑪ 人間の理解、人間存在の理解	神庭 重信(九州大学、名誉教授) 島藺 進(東京大学、名誉教授)	68分	10	
			⑫ 心理的支援の現場における実践的な アセスメント	熊上 崇(和光大学、教授) 橋本 忠行(香川大学、教授)	105分	10	
			⑬ 公認心理師としての自己理解と職能的発達	岩壁 茂(立命館大学、教授)	57分	10	
A-3	さまざまな視点から こころを捉える 【10講義】	第1 クール	⑳ 産業(経済)とこころ	千本 倅生(株式会社レノバ、名誉会長)	53分	13	27,500円
			㉑ 現代社会とキャリア	下村 英雄(独立行政法人労働政策研究・研修機構 職業構造・職業指導部門、副統括研究員)	64分	13	
			㉒ 社会集団・組織と心身の健康	山口 裕幸(九州大学、教授)	61分	13	
			⑰ 家族	神谷 哲司(東北大学、教授)	60分	12	
			⑱ 生活の営みとこころ	増沢 高(子どもの虹情報研修センター、研究部長) 松永 忠(社会福祉法人別府光の園、統括施設長) 国分 美希(社会福祉法人至誠学舎立川 至誠大空の家、施設長)	73分	12	
			⑲ 家族像とアイデンティティ	神谷 哲司(東北大学、教授) 松永 忠(社会福祉法人別府光の園、統括施設長) 国分 美希(社会福祉法人至誠学舎立川 至誠大空の家、施設長)	55分	12	
			㉓ 文化における普遍性と多様性	長谷川 眞理子(総合研究大学院大学、前学長) 外山 みどり(学習院大学、名誉教授) 波平 恵美子(お茶の水女子大学、名誉教授)	37分 35分 35分	14	
			㉔ 心理的支援の実践における文化	江口 重幸(東京武蔵野病院、名誉副院長)	62分	14	
			㉕ マイノリティの文化と心理的支援	加賀美 常美代(目白大学、教授) 熊谷 晋一郎(東京大学、准教授) 葛西 真記子(鳴門教育大学、教授)	45分 38分 21分	14	
			㉖ 文化間移動のこころへの影響	徳永 智子(筑波大学、准教授)	68分	14	

実務基礎研修(カフェテリア型)

No.	セット名称	実務基礎 研修該当 クール	研修課題	研修講師	講義 時間	シラバス 頁番号	料金 (税込)
A-4	アセスメントや支援の基本 となる学びを深める 【9講義】	第2 クール	導入 人々の暮らしを支える礎となるもの一法と 医療の視点からー	安倍 嘉人(元東京高等裁判所、長官) 神庭 重信(九州大学、名誉教授) 村瀬 嘉代子(公認心理師試験研修センター、顧問 大正大学、名誉・客員教授)	67分	17	22,000円
			① 心理専門家の責任とクライアントの責任	森田 美弥子(名古屋大学、名誉教授)	58分	18	
			② 障害と罪の有責性を考える	安保 千秋(都大路法律事務所、弁護士)	63分	18	
			③ 事実への接近	金矢 拓(四季の風総合法律事務所城南オフィス、弁護士)	60分	19	
			④ さまざまな分野における事実の取り扱い	神庭 重信(九州大学、名誉教授) 黒木 俊秀(九州大学、教授) 増沢 高(子どもの虹情報研修センター、研究部長) 石隈 利紀(東京成徳大学、教授) 橋本 和明(国際医療福祉大学、教授) 金井 篤子(名古屋大学、教授)	67分	19	
			⑤ 心理的支援の実践と研究成果:科学的根拠	岩壁 茂(立命館大学、教授)	58分	19	
			⑫ 日々の実践を振り返る	増沢 高(子どもの虹情報研修センター、研究部長)	53分	28	
			⑮ スーパービジョンにおける学び方	橋本 和明(国際医療福祉大学、教授) 谷 麻衣子(愛知県医療療育総合センター中央病院、主任) 鈴木 隆文(児童心理治療施設名古屋市くすのき学園、 心理士) 今枝 美幸(金城学院大学、助教) 近藤 隆夫(帝塚山大学、教授・元家裁調査官) 水島 秀聡(小島プレス工業株式会社、課長)	62分	28	
			⑲ ケースカンファレンスにおける学び方	川瀬 正裕(金城学院大学、教授)	65分	28	
A-5	病いや障害、厳しい現実と 向き合う専門職としての理 解を深める 【9講義】	第2 クール	⑧ 病気・障害とこころ	黒木 俊秀(九州大学、教授)	45分	21	27,500円
			⑨ 重い病気の子ども:障害とこころ	藤野 陽生(大阪大学、准教授)	69分	21	
			⑩ 神経発達症・障害とこころ	井上 雅彦(鳥取大学、教授) 黒田 美保(田園調布学園大学、教授)	48分 51分	21	
			⑰ 医療化/心理化とメンタルヘルスケアの社 会化	石原 孝二(東京大学、教授)	78分	25	
			⑳ こころの病とこころの薬	黒木 俊秀(九州大学、教授)	55分	25	
			⑥ インフォームド・コンセントと協働による 意志決定	田中 康雄(こころとそだちのクリニックむすびめ、医師)	60分	20	
			⑦ 生命と存在に関わる真実告知	久保田 馨(日本医科大学、教授) 柘植 あづみ(明治学院大学、副学長・教授) 山田 勝美(山梨県立大学、教授)	40分 80分 46分	20	
			㉑ 認知症の理解と支援	繁田 雅弘(東京慈恵医科大学、主任教授)	50分	26	
			㉒ 高齢者・その支援者を共に支える	繁田 雅弘(東京慈恵医科大学、主任教授)	52分	26	
A-6	現代社会の諸問題の理解 と支援を考える 【10講義】	第2 クール	⑯ 危機への理解と支援	窪田 由紀(九州産業大学、科研費特任研究員)	58分	24	27,500円
			⑰ 危機対応におけるコミュニケーション	平井 啓(大阪大学、准教授)	59分	24	
			⑱ 災害における危機対応	河嶋 讓(厚生労働省委託事業DPAT事務局次長、医師) 大澤 智子(兵庫県こころのケアセンター、上席研究主幹)	38分 38分	24	
			㉓ 貧困の理解	松本 伊智朗(北海道大学、名誉教授)	92分	27	
			㉔ 不登校と社会的ひきこもり	伊藤 美奈子(奈良女子大学、教授) 斎藤 環(筑波大学、教授)	40分 46分	27	
			⑪ 自傷について	松本 俊彦(国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所、薬物依存研究部長 (兼任)薬物依存症センター、センター長)	61分	22	
			⑫ 自殺(自死)について	新井 肇(関西外国語大学、教授)	57分	22	
			⑬ 暴力や加害の背景にあるもの	藤岡 淳子(大阪大学、名誉教授)	56分	23	
			⑭ 虐待、DV、いじめ、ハラスメント ー弱者への暴力を考えるー	中村 正(立命館大学、教授)	75分	23	
			⑮ 暴力の世代間伝達	野坂 祐子(大阪大学、教授)	58分	23	

実務基礎研修(カフェテリア型)

No.	セット名称	実務基礎 研修該当 クール	研修課題	研修講師	講義 時間	シラバス 頁番号	料金 (税込)
A-7	保健医療分野の実務における基本的課題 【10講義】	第3クール	① 我が国の保健医療制度の現状と課題	吉川 隆博(東海大学、教授)	48分	30	27,500円
			② チーム医療とリーダーシップ	畠山 卓也(高知県立大学、准教授) 古村 健(名古屋市立大学大学院、准教授)	46分 53分	30	
			③ 一般身体科領域における公認心理師への期待	服巻 豊(広島大学、教授)	100分	30	
			④ 生活習慣と未病状態への支援	神田橋 宏治(としま昭和病院、医師) 竹中 晃二(早稲田大学、名誉教授)	64分	30	
			⑤ 保健医療分野におけるトラウマインフォームドケア	大岡 由佳(武庫川女子大学、准教授)	64分	30	
		第4クール	⑥ 精神科急性期病棟における多職種連携	三井 督子(京都大学大学院医学研究科 助教) 草地 仁史(日本精神科看護協会 業務執行理事) 黒木 俊秀(中村学園大学、特命教授)	57分	36	
			⑦ リスクアセスメントとクライシスプラン	古村 健(名古屋市立大学大学院、准教授) 野村 照幸(新潟医療福祉大学、教授) 黒木 俊秀(中村学園大学、特命教授)	42分 24分 23分	36	
			⑧ 地域在宅医療における公認心理師への期待	若林 英樹(三重大学、教授) 神田橋 宏治(としま昭和病院 医師) 黒木 俊秀(中村学園大学、特命教授)	85分	36	
			⑨ 医療従事者の虐待対応とその後—TICの視点から	毎原 敏郎(兵庫県立尼崎総合医療センター、医師) 大岡 由佳(武庫川女子大学 准教授) 黒木 俊秀(中村学園大学、特命教授)	85分 21分 23分	36	
			⑩ こころとからだの境界域：慢性一次性疼痛の臨床	黒木 俊秀(中村学園大学、特命教授) 杉山 登志郎(福井大学、客員教授)	80分	36	
A-8	福祉分野の実務における基本的課題 【10講義】	第3クール	① 生活と心理臨床	滝川 一廣(あなはクリニック、医師)	62分	31	27,500円
			② 福祉領域における権利擁護と法制度	高橋 温(新横浜法律事務所、弁護士) 丹野 傑史(長野大学、教授) 加藤 伸司(東北福祉大学、教授)	31分 31分 42分	31	
			③ 多職種協働による支援と心理職の役割	薬師寺 真(倉敷児童相談所、所長) 下山 真衣(信州大学、准教授) 加藤 伸司(東北福祉大学、教授)	43分 30分 35分	31	
			④ 子育て支援と心理職の役割	八木 安理子(同志社大学、客員教授)	33分	31	
			⑤ 障害のある当事者、家族、支援者への支援と心理職の役割	田熊 立(千葉県発達障害者支援センターCAS、副所長)	40分	31	
		第4クール	⑥ 児童虐待対応の流れと心理職の役割	薬師寺 真(倉敷児童相談所、所長)	45分	37	
			⑦ 社会的養護を必要とするこどもの支援と心理職の役割1:小学校年齢児	藤原 誠(香川県子ども女性相談センター、次長(兼)相談支援課長)	66分	37	
			⑧ 社会的養護を必要とするこどもの支援と心理職の役割2:思春期・青年期	増沢 高(子どもの虹情報研修センター、研究部長)	57分	37	
			⑨ 高齢者支援における高齢者と家族に対する心理的支援の実際	加藤 伸司(東北福祉大学、教授)	65分	37	
			⑩ 強度行動障害の理解と支援の実際	高橋 潔(鉄道弘済会、理事)	47分	37	
A-9	教育分野の実務における基本的課題 【10講義】	第3クール	① 教育の現状と動向	仲村 健二(文部科学省児童生徒課生徒指導室、室長) 石隈 利紀(東京成徳大学、特任教授)	38分 35分	32	27,500円
			② 学校組織とチーム学校の理解	山口 豊一(聖徳大学、教授) 石川 悦子(こども教育宝仙大学、教授)	42分 43分	32	
			③ 子どもの問題と心理教育的援助サービスのモデル	新井 雅(跡見学園女子大学、教授) 大石 幸二(立教大学、教授)	34分 49分	32	
			④ 家庭や地域の問題と心理教育的援助サービス	野田 正人(立命館大学、名誉教授) 水野 治久(大阪教育大学、教授)	36分 37分	32	
			⑤ 子ども、学校組織・風土、環境のアセスメント	半田 一郎(子育てカウンセリング リソースポート) 小野 純平(法政大学、教授)	46分 27分	32	
		第4クール	⑥ 教職員へのコンサルテーション・コーディネーション	谷島 弘仁(文教大学、教授) 小野瀬 雅人(聖徳大学、教授) 小林 朋子(静岡大学、教授)	29分 44分 30分	38	
			⑦ チーム学校へのコンサルテーション	家近 早苗(東京福祉大学、教授) 西山 久子(福岡教育大学、教授)	30分 30分	38	
			⑧ 保護者、地域との連携	大河原 美以(大河原美以心理療法研究室) 田村 節子(元東京成徳大学、教授 スクールセーフティネット・リサーチセンター、代表理事)	40分 50分	38	
			⑨ 子ども(当事者)とのパートナーシップ	水野 治久(大阪教育大学、教授) 池田 美樹(桜美林大学、准教授) 小栗 貴弘(跡見学園女子大学、准教授)	40分 32分 35分	38	
			⑩ 教育分野における課題と公認心理師の役割	石隈 利紀(東京成徳大学、教授) 家近 早苗(東京福祉大学、教授) 水野 治久(大阪教育大学、教授) 半田 一郎(子育てカウンセリング リソースポート) 大石 幸二(立教大学、教授)	101分	38	

実務基礎研修(カフェテリア型)

No.	セット名称	実務基礎 研修該当 クール	研修課題	研修講師	講義 時間	シラバス 頁番号	料金 (税込)
A-10	司法・犯罪分野の実務に おける基本的課題 【11講義】	第3 クール	導入 司法における人間へのまなざし	廣瀬 健二(元東京高等裁判所、判事) 橋本 和明(国際医療福祉大学、教授)	53分	33	27,500円
			① 司法・犯罪関連施設における生活と関係性の治療的意味	村瀬 嘉代子(公認心理師試験研修センター、顧問 大正大学、名誉・客員教授) 富田 拓(北海道家庭学校樹下庵診療所・ 網走刑務所医務課、医師)	27分 62分	33	
			② 司法・犯罪分野における特有の感情の理解	門本 泉(大正大学、教授)	69分	33	
			③ 公的支援と民間支援のシームレス連携	犬塚 貴浩(大阪刑務所、法務教官) 谷 真如(内閣府内閣サイバーセキュリティセンター、 参事官補佐) 野村 和孝(北里大学、准教授) 浅見 祐香(目白大学、専任講師) 嶋田 洋徳(早稲田大学、教授)	96分	33	
			④ 反省や内省を促す心理職の関わり	石川 隆行(宇都宮大学共同教育学部、准教授) 門本 泉(大正大学、教授)	45分 24分	33	
		⑤ 加害者支援と犯罪被害者支援	寺田 孝(川越少年刑務所、法務教官) 齋藤 梓(上智大学総合人間科学部、准教授)	40分 33分 37分	33		
		第4 クール	⑥ 逸脱行動の背景にある愛着の課題や発達 の課題の理解	富田 拓(北海道家庭学校樹下庵診療所・ 網走刑務所医務課、医師) 野坂 祐子(大阪大学、教授) 田中 康雄(ミネルバ病院、医師)	86分	39	
			⑦ 家庭内紛争の中にある子どもの心理	安保 千秋(都大路法律事務所、弁護士) 熊上 崇(和光大学、教授)	46分 44分	39	
			⑧ 司法関係者等との有効な連携を図るための アセスメントと関わり	寺村 堅志(常磐大学、教授) 仲 真紀子(理化学研究所、理事 立命館大学、教授)	38分 57分	39	
			⑨ 医療観察法と公認心理師の役割	古村 健(名古屋市立大学大学院、准教授) 西中 宏吏(早稲田大学、助教)	58分 49分	39	
			⑩ 依存症の理解と対応	松本 俊彦(国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所、薬物依存研究部部長 (兼任)薬物依存症センター、センター長)	85分	39	
A-11	産業・労働分野の実務に おける基本的課題 【10講義】		第3 クール	① キャリアサイクル理論 －新入社員のリアリティ・ショック－	道谷 里英(順天堂大学、先任准教授)	55分	34
		② 組織論 －若手社員のうつ反応－		佐藤 恵美(メンタルサポート&コンサル沖縄、代表)	71分	34	
		③ 組織マネジメント論 －部長職による人材育成－		佐倉 健史(さんぎょうい株式会社 メンタルヘルス ・ソリューション事業室、室長)	68分	34	
		④ リーダーシップ論 －女性研究職の登用－		大庭 さよ(メンタルサポート&コンサル東京、代表)	56分	34	
		⑤ 多職種連携 －関連職種との連携－		高野 知樹(神田東クリニック、院長)	55分	34	
		第4 クール	⑥ 外部EAP論 －若手の退職事例－	田中 勝男(公認会計士田中勝男事務所、 公認会計士・臨床心理士)	62分	40	
			⑦ 産業精神保健論	高野 知樹(神田東クリニック、院長)	60分	40	
			⑧ 復職支援(リワーク)	三宅 美樹(トヨタ車体研究所)	60分	40	
			⑨ 雇用に関わる法とルール －労働法と就業規則の枠組を知る－	小島 健一(鳥飼総合法律事務所、弁護士) 三宅 美樹(トヨタ車体研究所)	96分	40	
			⑩ 多様性の時代の雇用 －雇用における多様性を考える。 人権、倫理、公正との関連から－	白木 三秀(早稲田大学、名誉教授)	51分	40	

実務基礎研修(総合2年型・カフェテリア型)

【申込から修了までの流れ】



初めて申込される方のみ

※総合2年型は、クール終了時に次クールの受講料の決済が必要となります。

【開講期間等チャート】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合2年型(1年目前期)					募集	第1クール 受講料入金	第1クール開講					第2クール 受講料入金
(1年目後期)	第2クール開講				第3クール 受講料入金							
(2年目前期)							第3クール開講					第4クール 受講料入金
(2年目後期)	第4クール開講						修了証 発行					
カフェテリア型	募集	開講		募集	開講		募集	開講		募集	開講	

実務基礎研修(総合2年型)

講義数	料金(税別)	料金(税込)
各クール(6か月) 25-28研修課題	60,000円	66,000円
全4クール(2年間) 106研修課題	240,000円	264,000円

実務基礎研修(カフェテリア型)

セット番号	料金(税別)	料金(税込)
研修No. A-1 A-4	20,000円	22,000円
研修No. A-1 A-4 以外	25,000円	27,500円

一般研修・セミナー

名称	料金(税別)	料金(税込)
一般研修(オンデマンド)	公認心理師試験研修センター HPでご確認ください。	公認心理師試験研修センター HPでご確認ください。
スタートアップセミナー		
夏季セミナー		